

中国語科

日本には、隣国の中国から漢字をはじめとする文化に関する様々な影響を強く受けた歴史があり、日本人は中国文化に非常に親近感を持ってきました。ところが、近年中国の目覚ましい経済発展により、日中間の関係は益々親密になると同時に様々な摩擦も起きています。相互理解の不足により日中の間に色々な誤解が生じているという現状を認めざるを得ません。円滑なコミュニケーションで、お互いに正しく理解しあうためには相手の言葉を勉強する必要があります。中国語を勉強して、自分自身で中国に関する情報を集め、日中関係を冷静、かつ客観的に捉える分析力及び市民レベルでの密度の高い交流が必要な時代はすでに到来していると言えます。

さて、中国語は日本と同じように漢字を使っていますので、簡単なように感じられます。ただ、日本人の学習者にとって、中国語の発音は難しいとよく言われます。それは、1つには子音、母音の数が日本語よりずっと多く、さらに「四声」と言われる4つの声調があるからです。それに語尾変化がなく、助詞も少ないので、文法についても英語や日本語とは異なる特徴が多いと言われます。

慶應外語の中国語科には長い伝統があり、優秀な講師を揃え、時代のニーズに合うよう授業の質を高めています。

カリキュラムは基礎から上級、さらに応用として、特別講座にセミナークラスがあり、それぞれのレベルの要望に応じています。特別講座の申し込み詳細は、慶應外語 Web サイトにてご確認ください。

<http://www.fl.s.keio.ac.jp>

カリキュラムとしては、短期的に中国語の基礎をマスターしてもらうために、基礎と初級では、週3回の授業で、しっかりと基礎固めをしてもらいます。文法担当には日本人の講師、発音会話では中国人の講師が担当し、皆さんの勉強を強力にサポートします。

中級、上級 I も同様にネイティブの講師と日本人の講師とペアで授業を担当します。

上級 II に関しては、二人の講師ともネイティブで、中国文化に関する様々な表現や語彙を指導する講師と、中国語の会話と聴解とともに、コミュニケーションでよく使う文法を主に指導する講師の二人で担当し、学習者として、最も苦手な面について指導します。本講座の特徴としては、基礎から上級まで常に生の中国語が聴けるよう力を入れています。

受講希望の方は、まず、ご自身のレベルに一番あったクラスを選ぶことが大切です。「レベル目安」と「講座内容」を熟読してご自身のレベルに最も近い講座を選んでください。

受講の形式は、基礎・初級は週3回の講座を全て受講するコースです。中級、上級 I、上級 II は、すでにある程度勉強されていて、ご自身の弱点だけ強化したい方は、会話、読解、聴解などクラスの内容をよく見て、1つだけ選んで受講して下さっても結構です。

講座終了後に成績が通知されるので、学んだことが身に付いたかどうか、判断の材料にしてください。

また、同じレベルにある2つの講座を同時に受講するセット科目を受講すると、学習効果も上がり、受講料も割引になるので、お時間がある方には週2回受講をお勧めします。(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

<修了条件>

上級 II の2講座をすべて合格した場合、中国語科講座の課程修了となり、希望者には修了証を発行します。

1学期に1講座ずつ受講をする場合は、期を空けずに連続して残りの講座を受講し、合格をすると修了となります。

以上述べたように、充実した講師陣と細かくレベルに分けたクラスがありますので、ぜひ慶應外語で楽しく中国語を勉強してください。